2025. March
302
令和7年3月発行
商工連情報誌
なるほど神奈川
Kanagawa Prefectual Federation of Sosieties of Commerce and Industry

神奈川県商工会連合会
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80
（神奈川中小企業センター 10階）
TEL.045-633-5080 FAX.045-633-5081
URL http://www.k-skr.or.jp
◎発行責任者／関戸 昌邦 2025.3

県青連

神奈川県代表 全国2位となる優秀賞受賞!!
「令和6年度 商工会青年部全国大会」

令和6年11月27日（水）・28日（木）、パナソニックスタジアム吹田（大阪府）で、第24回商工会青年部全国大会が開催され、本県の代表であり関東甲信越ブロックの代表として全国主張発表大会に出場した山北町商工会青年部の角原清志さんが、見事全国2位となる「優秀賞」を勝ち取りました。

本年度は、青年部員約4500名が集結し、神奈川県からは108名が参加しました。

◆青年部主張大会

大会プログラムの一つである主張発表は、青年部活動を通じて、地域振興や自社経営の向上につながる実体験を聴衆の前で発表することで、相互に研鑽し、地域リーダーあるいは経営者としての資質向上を図ることを目的に実施されています。大会では、全国を6つのブロックに分けて、都道府県予選と各地区ブロック予選を勝ち抜いてきた代表者7名が、会場であるサッカーグラウンドのセンターサークルに立ち、それぞれ発表しました。

本県の代表である山北町商工会青年部の角原清志さんは、全出場者の大トリを務める7番目に発表。「追い求めた先にある景色」をテーマに発表。カナダ留学で出会った大自然に感動し、アウトドアガイドとして生きる決意をしたこと。その後、日本で経験を積みアラスカに挑むも帰国。再挑戦への情熱を胸に、山北町丹沢湖で商工会のサポートを受け、SUP（スタンドアップパドル）ツアー事業を起業。しかし、「コロナ禍で経営難に直面する中、仕事を紹介してもらうなど商工会青年部の仲間に支えられながら絆を深め、地元密着の活動へと広がったこと。また、昨年発生した能登半島地震では、創業メンバーが実家のある能登で独立した矢先に被害を受け、被災した仲間を支援するため、山北町の青年部の仲間とともにボランティア活動を実施。多くの困難を仲間と協力して克服した経験から「地域と人をつなぐ力」に気づいたことを語り、今後も「山北町をSUPと青年部で盛り上げることに情熱を注いでいく」として力強い発表で締めくくりました。

従来のように室内ホールの壇上ではない特殊な環境での発表にも関わらず、スタンドから見守る聴衆に向かって身振り手振りを交えながら語りかける角原さんの主張に、同じ青年部員である参加者は強く共感し、引き込まれている様子でした。

サークル内で発表の時を待つ角原さん

そして、報道関係者等第三者による厳正な審査の結果、見事「優秀賞」に輝きました。

なお、最優秀賞は、中部ブロック代表能登町商工会 鶴野晋太郎さんが、能登地震の被災をテーマに最優秀賞に選ばれました。

◆商人ネットワーク事業

また、山北町青年部からは自社の事業販路拡大を目的とする大会プログラム「商人ネットワーク」に、株式会社ジーンワークス（製造業）が出展し、神奈川の作り手の技術と想いをこめた自社ブランド商品「手神」をステージ上でPRし、ブースで販売をしました。

神奈川の作り手が想いを宿したブランド「手神」

スタンドから声援を送る仲間たち

小規模事業者持続化補助金の活用

地域に根差したアート活動で事業を発展

城山商工会
株式会社ママモ

商いの達人 81
城山商工会
株式会社ママモ
代表取締役 **岩本 李菜**さん

かつて幼稚園教諭として働いていた岩本さんは、「チョークアート（※）」の美しさに惹かれ、描くことの楽しさを伝えたいという想いからオーストラリアに留学し、「チョークアート」の考案者であるモニークキャノン先生から「チョークアート」を学びました。（※チョークアートとは、ブラックボードにオイルパステルで色を重ねて描く鮮やかで温かみのあるアートです。）

帰国後の2011年にアートサロン「Art Salon Welina」を開校。口コミや地域密着型の活動を通じて生徒数を増やし、これまでに延べ3，400名以上の方々に指導を行いました。

◆小規模事業者持続化補助金の活用

ところが2020年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、生徒数が大幅に減少しました。対面授業が難しい状況の中、生徒からは「遠方から通うのが困難」「授業の復習をしたい」という声が寄せられ、岩本さんは新たな授業の形を模索します。

まず、初級者から上級者まで対応できるオンライン講座の制作を計画。実際の教室と同等の内容を学べるよう、100本を目標に動画講座を制作。これにより、自宅でも安心して学べる環境整備が可能となりました。

また、楽天などのECサイトで販売していた画材を、自社ECサイトで販売する体制に変更。これにより販売手数料を削減し、より効率的な運営が可能になると同時に、顧客へのサービス向上にもつながりました。

さらに、教室の集客力を強化するため、店舗入口に新たな看板を設置。これまでの看板では教室の存在が十分に伝わらないという課題がありましたが、新しい看板は、通行人にも「アート教室」と一目で伝わるデザインとなりました。

◆人生の転機とディンプルアート

コロナ禍と重なる時期に人生の転機となる出産を迎え、一時、事業を離れたものの「アートを通して仕事を続けたい」という想いから、知人の後押しで新たに始めたのがディンプルアートでした。

ディンプルアートは、自動車のフロントガラス廃棄工程で生じる「中間膜」を活用した透明感のあるアルコール系絵の具で描くアートです。

この絵の具でガラスやアクリル板に枠線を描き、色を重ねると、数分のうちに艶やかで透明感のある作品が完成します。その色合いは見る人を惹きつける魅力にあふれています。

岩本さんはこのディンプルアートを広めるために、「ディンプルアート普及協会」を設立し、画材キット販売やオンライン講座を提供。現在ではアーティストとしても高く評価され、伊藤忠商事本社前の「ITOCHU SDGs STUDIO DOME」においても作品が採用されるなど、確固たる実績を築いています。

伊藤忠商事本社前に飾られた作品

◆事業者に寄り添った支援

岩本さんの事業を支援しているのが、城山商工会の阿部経営指導員です。阿部さんは、チョークアート教室を運営する岩本さんに対し、小規模事業者持続化補助金の申請支援に加え、事業の課題解決や新たな取り組みについても親身に相談に応じ、寄り添った支援を続けています。

取材当日も、阿部さんは今後の展開に関する資料を用意して訪問。岩本さんに具体的なアドバイスをし、取材後には、事務所内で支援内容を情報共有するほか、専門家派遣を手配するなど、課題解決に向けた的確なサポートを行っていました。

商工会は、地域の事業者が事業継続に向けて新たな挑戦ができるよう、各種補助金の申請のサポートをはじめ、経営指導や専門家派遣など多方面から支援を提供しています。

相談をする岩本さん

《問い合わせ先》
株式会社ママモ
相模原市緑区谷ヶ原 1-2-14
TEL 042-783-8755

「当事者の目線」に立つことの重要性
黒岩知事と商工会長等との懇談会

1月30日（木）、ホテル・ザ・ノットヨコハマで「黒岩知事と商工会長等との懇談会」が行われました。

冒頭、関戸会長は、「黒岩知事からこれからの時代について色々な話を伺い、我々も一緒に行動することで、商工会がエンジンの役割を果たさなければならないと感じている」と挨拶しました。

黒岩知事は、「昨今の物価上昇、人手不足、賃上げの要求など、中小・小規模事業者の経営者の方々にとって大変、深刻な問題ではあるが、この流れは、もう止めるわけにはいかない状況にある。これを乗り越えていくためには、価格転嫁を行っていくという共通の理解をもって、今後、皆様としっかりと意見交換しながら考えていきたい」と挨拶されました。

挨拶をする関戸会長

懇談会では、黒岩知事から、「2025年の神奈川県の取り組み」と題してご講演をいただきました。

講演では、テレビ局在職時代に視聴者の目線に立った番組改革を行うことで視聴率アップにつなげたこと等の経験談をユーモアを交えて語りながら、「どんな場面でも当事者の目線を意識した行動が重要」だと示唆に富んだお話しをいただきました。

懇談会終了後の賀詞交歓会にも引き続き黒岩県知事にもご臨席いただき、終始和やかな雰囲気で盛会のうちに終了しました。

講演する県知事

景況調査【10～12月期】
前月の悪化から一転、持ち直し傾向にある小規模企業景況

県内会員150事業所を対象とした10～12月期の景況調査で、「良い」と答えた企業割合から「悪い」と答えた企業割合を引いた業況判断DIは、サービス業を除き、3業種が改善となった。

小売業が前期に比べ4.7pt、製造業が5.2ptの改善となり、建設業は13pt超の大幅な改善となった。

一方、サービス業はマイナス0.7ptとほぼ横ばいであるが、全業種平均では、前期マイナス11.4ptからマイナス5.9ptと5.5pt改善し、悪化から一転ほぼ半年ぶりの改善となった。

全業種ともに、依然として人手不足や仕入れ価格の上昇スピード等により、今後の先行きが不安との声が多く見られた。

県女連／県青連

地域リーダー育成事業（青年部女性部合同研修会）

令和6年12月5日（木）、レンブラントホテル海老名で青年部・女性部合同研修会が開催されました。

本年度2回目となる今回は、海老名市消防本部救命救急係の方を講師に招き、AEDの使い方や心肺蘇生の実践を学びました。従業員や家族を守る事業継続力と、地域リーダーとしての対応力を高める機会となり、参加者からも「有意義な研修だった」との声が寄せられました。

AEDを実際に操作する様子

商品開発・改良からビジネスマッチングまで 全国連特産品評価委員会（buyer's one・buyer's room）

第一線で活躍するプロのバイヤーの指導を受けながら「売れる商品」の開発や改良を行い（buyer's one）その商品を販路へつなげる（buyer's room）ことができるこのプログラムは、商品のブラッシュアップから販売促進まで一気通貫の支援を受けることができます。

令和6年度、株式会社Shonan Soy Studio（大磯町）は「発酵サラダふりかけハーブ&ポルチーニ」を出品し、商品改良を経て11月に開催されたbuyer's roomで総勢42名のバイヤーによる試食審査の結果「審査員特別賞」を受賞しました。

令和7年度の「buyer's one」の募集は5月下旬に開始予定です。また、「buyer's room」の募集は7月・9月を予定しています。

なお、募集期間については変更となる場合がありますので、詳細は随時ご確認ください。

審査員特別賞を受賞した発酵サラダふりかけハーブ&ポルチーニ

地域の特産品を国内外へ ジャパン・テロワール ショーケースin羽田空港

令和7年1月10日（金）～15日（水）羽田空港第1ターミナル2階マーケットプレイスにて、地域の特性を活かした特産品等を国内外へ広く周知することを目的に全国連主催の展示販売が開催されました。

令和6年7月に出品募集がされたこの事業は、有識者による試食審査により神奈川県から3者が採択されました。

出展者と商品は次のとおり。

㈱SiCi（逗子市）すこやかボーロ
㈱TAC21（逗子市）北海道産とうもろこしのスープ・柿のしずく
㈱Shonan Soy Studio（大磯町）ナットウジャーキー木桶しょうゆ味

羽田空港での販売の様子

申込みはお済みですか？（容器包装のリサイクル）

容器包装リサイクル法（以下「法」という。主務省庁：環境省・経済産業省・財務省（国税庁）・厚生労働省・農林水産省）により、食品、清涼飲料、酒類、石けん、塗料、医薬品、化粧品等の製造事業者、小売・卸売業者、びん、PETボトル、紙箱、袋などの製造事業者、輸入事業者（容器や包装が付いた商品等の輸入等）、テイクアウトができる飲食店・通販業者など「容器」「包装」を使って商品を売ったり、「容器」をつくっている事業者は、再商品化（リサイクル）の義務を負う可能性があります（但し、小規模事業者は除きます）。

なお、「特定事業者」でありながら、再商品化義務を履行していない場合は、平成12年4月の「法」の完全施行時まで遡及して義務を履行していただく（再商品化委託申込を行っていただく）必要がありますのでご注意ください。

※お申込み、お問い合わせは最寄りの商工会、または以下の（公財）日本容器包装リサイクル協会へ

●法律の概要、特定事業者の判断、遡及申込等に関する相談は、
（公財）日本容器包装リサイクル協会コールセンター　TEL：03-5251-4870

●委託申込関係書類の請求は、（公財）日本容器包装リサイクル協会オペレーションセンター
TEL：03-5610-6261　FAX：03-5610-6245

詳細についてはホームページをご確認ください

手数料等のキャッシュレス決済の導入と収入証紙の廃止

運転免許の更新や建設業許可申請手数料等の各種行政手続きにおいて、県収入証紙を利用いただいている手数料等の支払方法については、順次、キャッシュレス決済を導入し、クレジットカードのほか、電子マネーや二次元コード決済などでも納付できるようになります。なお、申請手続きによって開始時期や支払方法が異なります。

キャッシュレス決済を希望されない方は、県収入証紙利用終了後、納付書により金融機関やコンビニエンスストア、一部のスーパーやドラッグストアなどでお支払いいただける予定です。

また、収入証紙の販売は順次、終了していきますが、販売所によって終了時期は異なります。最終終了予定時期は令和7年9月末日です。お手元の収入証紙は一部の手数料を除き令和8年3月31日まで利用できる予定です。なお、購入した収入証紙で未使用のものについては、還付（払戻し）を受け付けます。

■詳細は県ホームページから
■問い合わせ先
神奈川県会計局会計課決算国費グループ
TEL　045-210-6770

地域活性化事業から、経営改善普及事業を目指して

○2024 ビッグハヤマ・マーケット開催

葉山町商工会は、令和6年9月29日（日）に葉山町森戸神社境内において「メイドイン・ハヤマ」をテーマに、葉山の商工業、観光、農業、漁業が一体となったビッグハヤマ・マーケットを開催しました。

本イベントについて、柳商工会長と事業の担当の蓑田経営指導員にお話を伺いました。

○ビッグハヤマ・マーケットとは？いつから始まったの？

葉山町商工会は、昭和60年から商業・工業・観光・農業・漁業の関係者による魅力ある店づくり、企業づくりの研究・提案の場としてメイドイン・ハヤマ展という展示会を開催していました。その後、平成2年、神奈川県による総合イベント「サーフ'90（相模湾アーバンリゾート・フェスティバル1990）」の開幕を受け、メイドイン・ハヤマ展と、現在も毎週日曜日に開催されている朝市（ハヤマ・マーケット）を結び付け、ビッグハヤマ・マーケットとして新たに立ち上げました。以後34年も続く年に一度の大規模なイベントであり、地域住民だけでなく葉山町に行楽に訪れた方々にも親しまれています。

魅力ある特産品に行列必至

○当日の様子

9月29日（日）9時30分から15時まで開催しました。前日まで大気の状態が不安定だったため、開催が危ぶまれましたが、当日は曇りとなり9，000人のお客様を迎えました。

会場では、葉山町の海や山が育んだ特産品を販売しており、販売開始の9時半には長蛇の列になるほど大勢のお客様でにぎわいました。41店舗の内6店舗が初出店となり最新の食文化を提案していました。

また、会場では、今年で18回目となる葉山工業フェスタ24'も開催されました。町民から「地元建築業者に工事を依頼したいが、どんな業者がいるのか分からない」との声を受けて、町内建設業者による住宅相談会や技術体験型ワークショップを実施し、地域の子供も大人も手仕事の繊細さ、力強さを間近で感じる場となりました。

にぎわう様子

○ビッグハヤマ・マーケットを通して葉山町商工会の思い

柳会長はこのイベントの意義について次のように語ります。

「本商工会は自社の商品を売る営業の場として、本イベント名に【マーケット】というタイトルを入れています。

出店事業者には、自社の商品を売る営業の場＝テストマーケティングの場として、当日の売り上げを重視するのではなく、本イベントで購入していただいたお客様が、お店の方にも来店されるように取り組むことや、出店後自社の問題点を洗い出す等、次に繋がる取り組みの場として活用していただきたいと考えています。

また、商工会の支援で重要なことは、どれだけ会員に真摯に向き合った支援をしているかということです。商工会では毎年本イベント後、出店事業者等に対して特別相談会を行なっております。地域活性化事業（振興事業）後の経営改善普及事業（フォローアップ）であると認識しています。」

蓑田経営指導員は、本イベントの効果と今後について次のように語ります。

「本イベントは、平成23年より神奈川県商工会連合会の地域連携推進事業を活用し、県内2商工会（大磯町、藤野）と、草津町商工会青年部と連携して開催しています。

この補助金がきっかけで隣接していない商工会と交流する場が増え、情報の共有や他商工会のイベントに出店する等、葉山町のPRになり、地域経済の活性化につながっています。

また、現在は行っていませんが、以前は商工会、農協、漁協3団体の女性部による鍋（葉山鍋）を出品していました。今後は、3団体でなにか出店できないか考えています。」

《問い合わせ先》
葉山町商工会
住所　三浦郡葉山町堀内1883-3
TEL　046-875-2810

神奈川県信用保証協会
金融支援
創業支援
経営支援
～夢と未来に向けて～
かながわの中小企業を応援します
カナモ
随時ご相談をお受けしています
企業支援部 TEL：045(681)7178

わかばカード 新規 提携店募集中
スマホでお手軽に提示！
安心と生きがいを保障
県民共済
お問い合せ・資料請求【業務推進部】
TEL045-201-3039
平日9:00～17:00（土・日・祝休）
神奈川県民共済生活協同組合　横浜市中区桜木町1-1-8-2県民共済プラザビル

頼れる補償の 商工会の福祉共済
ニーズに合わせて必要保障額に応じて加入プランをご検討いただけます！
けが　病気　がん　生命
商工会会員の皆さまだけが加入できる特別な制度です！
掛金・共済金は、年齢・性別・職種に関係なく一律！
スピーディーな共済金支払い！
全ての手続きが商工会で出来るので便利で安心です！
お申し込み・お問い合わせは各商工会まで